

立 第74回「社会を明るくする運動」街頭啓発 立ち直りを支える地域のチカラ

7月の「社会を明るくする運動」強化月間・再犯防止啓発月間に合わせて、社会を明るくする運動推進委員会および協力団体による街頭啓発活動が7月12日、桑折駅をはじめ、醸芳中学校やブイチェーン桑折店、いちい桑折店で行いました。

当日は、のぼり旗を掲げながら通勤・通学者や買い物客に啓発用ティッシュを配布し、犯罪や非行の防止、立ち直りを支える地域社会を皆で築くための呼びかけを行いました。醸芳中学校の生徒も活動に参加するなど、地域全体で社会を明るくする運動を推進しました。



▲桑折駅では高橋町長も参加し、朝の通勤・通学者へ啓発を行いました

花 道路環境美化活動 で道行く人たちに笑顔を

毎年、町内各地を彩る花植え活動。今年は6団体が参加し、5月31日から6月15日にかけてマリーゴールドやなでしこなどを植え沿道を色鮮やかにしました。参加者らは「町中が花でいっぱいになり、ドライバーや歩行者の癒しになればうれしい」と笑顔で花を見つめながら話していました。



広 告

働 中学生職場体験 く大変さ、やりがいを実感

醸芳中学校2年生の職場体験学習が7月9日から11日の3日間にわたり、町内の各事業所などで行われました。

醸芳幼稚園では、10人の生徒が各クラスに分かれて、担当教諭のもとで教育現場を体験。歌を歌ったり、ダンスをしたり、保育室の掃除をしたりするなど、園児らと触れ合いました。元気いっぱいの園児らを前に、自然と緊張も解けていった様子の生徒の皆さん。「子どもたちからたくさんの元気をもらった」「大変だったけれど、やりがいを感じた」などと話しました。



▲元気いっぱいの園児らと充実した時間を過ごす担当生徒

全 激励金贈呈 国大会での活躍に期待

JFA 第23回全日本O-50サッカー大会への出場が決まった緑上智貴さんと田中光常さんへの激励金贈呈式が6月27日、役場で行われました。

当日は、佐藤浩哉教育長が激励金を贈呈し「町民が福島県の代表に選出されたことは、大変名誉なこと。持てる力を存分に出し切り、さらなる活躍を期待する」と激励しました。

両名は、福島市のあづまフットボールクラブに所属し、6月29日に栃木県で開かれた同大会に出場しました。



▲佐藤教育長（左）より激励金を受け取る緑上さん（中央）と田中さん（右）

数 桑折町ホタル祭り 百匹のホタルが夜空を乱舞

桑折町螢保存会による「桑折町ホタルまつり」が6月21日から23日の3日間にわたり、産ヶ沢川ホタル自然公園で開かれ、約2,000人が訪れました。21日のオープニングセレモニーでは、同保存会の吉田会長が「日ごろから環境整備に協力いただいている皆さんに感謝。今年は暖かい日が続く、すでに多くのホタルが飛んでいる。幻想的な風景を楽しんでほしい」とあいさつ。その後、地元のギターデュオ花詩集による演奏が行われました。産ヶ沢川のホタルは、例年6月中旬ごろから7月上旬ごろまで楽しめます。



▲オープニングセレモニーでテープカットを行う参加者の皆さん

半 町消防団ポンプ中継送水訓練 田山自然公園で

町消防団主催のポンプ中継送水訓練が7月7日、半田山自然公園で行われました。伊達地方消防組合中央消防署西分署の遠藤分署長をはじめ職員5人を講師に迎え、団員約130人が参加しました。

訓練では、半田沼からの取水を行い、高低差による水压低下や中継時の圧力調整、ダイレクトバルブの使用方法などを確認。その後、分団ごとに分かれ、半田沼から駐車場までを約20本のホースでポンプ・ポンプ車の中継し、送水・放水しました。団員たちは、山火事などに備えるため、消火の基本技術の確認や更なる技術の向上に努めました。



▲一つ一つの動作を確認しながら半田沼の取水作業を行う団員の皆さん